

**グラフレポート活用⑧**  
**～ランク別最終訪問日ごとの**  
**顧客数編～**

## アジェンダ

01 グラフレポート機能とは

02 実際の作成方法

03 その他作成時の注意点

## このレポートで解決できる課題

### <営業マネージャーの悩み>

どの顧客を優先するかそれぞれの社員がバラバラに決めており  
予算達成のための優先順位が、  
意識できてない・・・



### <営業の声>

対応に追われるばかりで  
優先順位を意識して計画を  
立てられていない・・・



顧客をランク分けすることで優先順位が明確化し、  
行くべき先に訪問できているか見える化されます

# 01 グラフレポート機能とは

---

# グラフレポートについて

---

# 作成フロー概要

## 1 データソース

顧客名	業種	案件名	進捗状況	受注					
sample株式会社	製造業	A導入案件	9.導入/開発中	20					
sample株式会社	製造業	esm/80L	8.受注	20					
sample株式会社	製造業	esm/ASPトライアル30L	トラブル対応	20					
sample株式会社	製造業	esm保守更新	3.課題明確化						
sample株式会社	製造業	Webマーケティングコンサルティング	4.提案中						
ソフトブレン株式会社	情報通信業	A導入案件	4.提案中						
ソフトブレン株式会社	情報通信業	B導入案件	選択なし						
ソフトブレン株式会社	情報通信業	B導入案件	選択なし						
ソフトブレン株式会社	情報通信業	esm RemixCloud/100L	トラブル対応					営業太郎	えいぎょうた
ソフトブレン株式会社	情報通信業	esm/120L	6.最終調整中	2010-06-15	10,000,000円	営業太郎	えいぎょうた		
ソフトブレン株式会社	情報通信業	esm/40L/関西支社	5.費用交渉中	2010-09-30	4,800,000円	営業太郎	えいぎょうた		
ソフトブレン株式会社	情報通信業	eSM新規導入	選択なし			営業三郎			
ソフトブレン株式会社	情報通信業	eSM新規導入	選択なし			営業太郎	えいぎょうた		

帳票・グラフの元となるデータの固まり(データソース)を作成します

- 使用するシートを選択します
- シートの中から使用する項目を選択します
- 帳票での集計項目、抽出条件など全てを含めたものを作成します

## 2 帳票

顧客別案件数および受注金額						
受注(予定)日: 今日から12カ月前~0カ月後						
該当件数 9件 50件 表示						
	2013-8		2013-9		2013-10	
	案件数	案件金額	案件数	案件金額	案件数	案件金額
BM商事株式会社	0	0円	0	0円	0	0円
たから歯科クリニック	0	0円	0	0円	0	0円
ロングフーズ株式会社	0	0円	0	0円	0	0円
株式会社アルファラン	0	0円	0	0円	0	0円
株式会社大河組	0	0円	0	0円	0	0円
高田製菓株式会社	0	0円	0	0円	0	0円
東都電力株式会社	0	0円	0	0円	0	0円
日高歯科クリニック	0	0円	0	0円	0	0円
武田建設株式会社	0	0円	0	0円	0	0円

作成したデータソースを元に帳票を選択します

帳票には、「一覧表」と「クロス集計表」の二種類あります

※削除する場合は、作成手順と逆の手順で行います。  
それぞれ次のフローに進むと、変更・削除ができなくなります。

# データソース

---

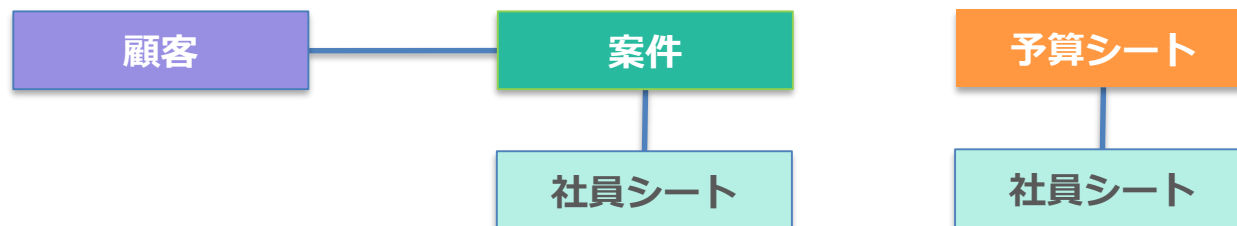
# シート・結合マップ・データソースの選択

データソースの作成元となる形式を選択します。  
作成元としては、下記の3パターンがあります。

- ① シート選択 ※シート単体からデータソースを作成します



- ② 結合マップ選択 ※複数シートを組み合わせてデータソースを作成します



- ③ データソース選択 ※複数データソースを組み合わせてデータソースを作成します

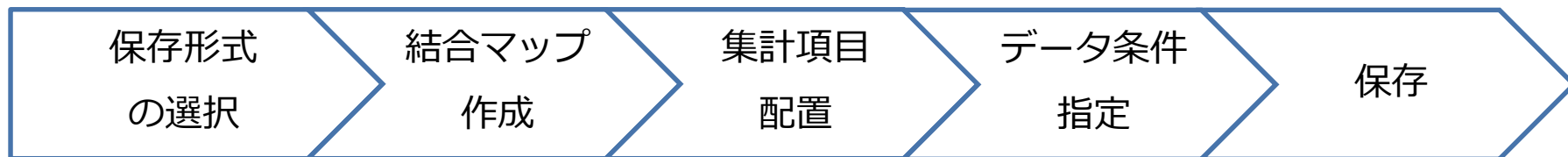




## 02 実際の作成方法

---

# データソース作成



# データソース作成①

帳票やグラフを作成する前に、まずはデータソースを作成する必要があります。

セールスマネージャー  
Remix

管理者 ヘルプ

システムメニュー

顧客  
案件  
名刺  
活動  
社員  
商品  
カレンダー  
データ分析  
書類棚  
タイムライン  
実績シート

データ分析 グラフレポート データソース

データソース一覧

カテゴリ新規作成 データソース新規作成 削除

カテゴリ・データソース名	使用シート	同期間隔	最終同期日時	最終更新日	最終更新者	順序
No.1				2020-02-10 13:55	管理者	
No.2				2020-02-10 13:55	管理者	
No.3				2020-02-10 13:55	管理者	
No.6				2020-02-10 13:55	管理者	
No.				2020-02-10 13:56	管理者	
No.8				2020-02-10 13:56	管理者	

1 データソース

2 データソースをクリックします

3 データソース新規作成をクリックします  
\* カテゴリが作成されていない場合はデータソース新規作成が出てきません  
先にカテゴリ新規作成を行ってください  
カテゴリとは、フォルダのようなイメージです

## データソース作成② データソースの選択

データソースを作成するためにどこからデータを取得するか選択します。

データ分析

シート・結合マップ・データソースの選択

シート・結合マップ・データソースの選択 > 集計項目の設定 > 集計条件の設定 > データソースの保存

1 ▲ データソースで集計対象とするシート、結合マップ、およびデータソースを選択します。

結合マップ新規作成

結合マップ新規作成ををクリックします

選択	名称	使用シート	操作	順序
<input type="checkbox"/>	シート選択			
<input type="checkbox"/>	結合マップ選択			
<input type="checkbox"/>	データソース選択			

データソースを作成するためにどこからデータを取得するかを選択します

- ・ **シート選択**  
一つのシートから帳票・グラフを作成したい場合に選択します
- ・ **結合マップ選択**  
複数のシートの情報を組み合わせて帳票・グラフを作成したい場合に選択します

★今回はシート選択ではなく結合マップ選択を使用してデータソースを作成します

# データソース作成③ 結合マップの作成 1

複数のシートを結合して一つの結合マップを作成します。

**結合マップ新規作成**

▲ シート追加メニューより結合したいシートまたはデータソースを追加し、結合マップを作成します。

結合マップ名  (日本語)  
他言語を表示

説明文

1 必要なシートをクリックして、左側の枠内にカーソルを移動します

2 水色の四角形が表示されたら、クリックして配置します  
\*ドラッグアンドドロップでは配置できません

顧客	案件	案件商品情報項目
活動	活動内容	活動商品情報項目
商品	名刺	社員

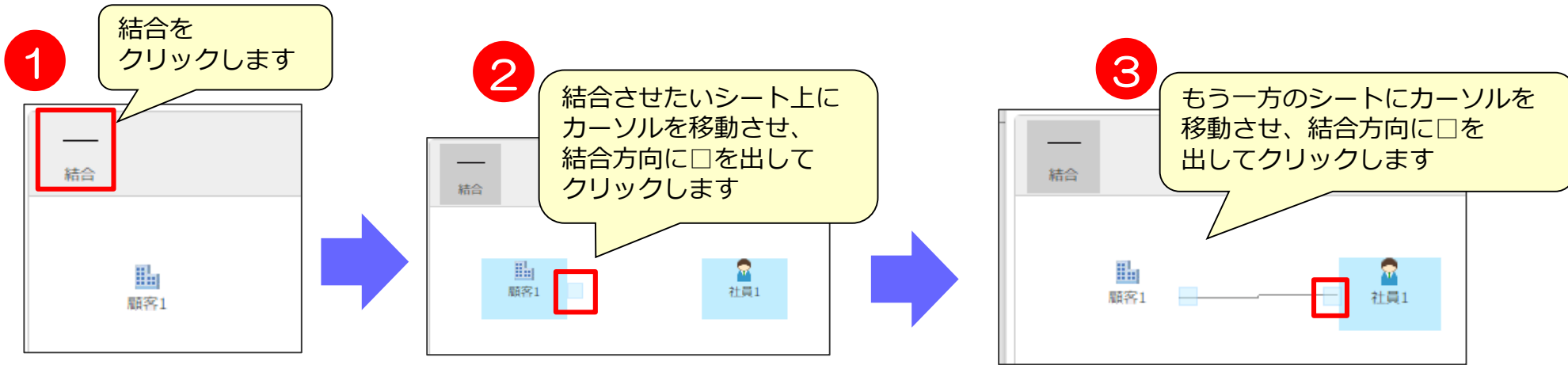
3

今回は、顧客、社員を選択します  
※シート間の配置は距離を開けて配置してください  
距離を詰めて配置すると、P14の結合が難しくなります

顧客1 社員1

# データソース作成③ 結合マップの作成2

シート間を結合し、シート間の結合設定します。



シート間結合設定

▲ 選択したシート間で結合する項目を選択して下さい。

シート	顧客 - 社員
外部結合	<input type="checkbox"/> 「顧客」を外部結合する <input type="checkbox"/> 「社員」を外部結合する
結合する項目	<input checked="" type="radio"/> 顧客自社担当者 <input type="radio"/> その他の項目で結合する

4

設定完了

シートをどの項目で結合するか設定します  
基本的にデフォルトのままですべて設定完了で集計出来ます  
デフォルト項目以外で、結合したい場合は、別紙を参照してください  
【別紙参照】④シート間結合可能項目一覧

## データソース作成④ 結合マップの作成 3

シートの結合が完了しましたら「結合マップ名」を記入し、登録します。

### 結合マップ新規作成

▲ シート追加メニューより結合したいシートまたはデータソースを追加し、結合マップを作成します。

1

結合マップ名  (日本語)

他言語を表示

結合マップ名を記入します

説明文

結合

顧客1 ———— 社員1

「登録」をクリックします

2

登録

- 顧客
- 案件
- 案件商品情報項目
- 活動
- 活動内容
- 活動商品情報項目
- 商品
- 名刺
- 社員
- 社員
- 社員
- 31

## データソース作成⑤ 結合マップの選択

新規作成した結合マップは、一番下に作成されますので、チェックをつけ選択します。

データ分析

シート・結合マップ・データソースの選択

選択	名称	説明	使用シート	操作	順序
<input type="checkbox"/>	活動集計用 (達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	活動集計用 (見達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	A (達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	A (未達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	B (達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	B (未達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	C (達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	C (未達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	D (達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>			顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>			顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 実績シート	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>			顧客, 案件	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>			顧客, 案件, 社員, 部署	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	案件活動		顧客, 案件, 活動, 活動内容, 社員, 部署	変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	顧客社員集計			変更  コピー  削除	<input type="checkbox"/>

データソース選択

3 作成した結合マップは、「結合マップ選択」の一番下に表示されますので、チェックを入れ選択します

4 「次へ」をクリックします

次へ





## 【参考】この例で必要な項目と項目名変更

この例では以下の項目を配置し、名称の変更が必要な項目があります。

顧客名	顧客ランク	業種	社員氏名	役職名	郵便番号	住所	登録者	最終更新日	最終訪問日
-----	-------	----	------	-----	------	----	-----	-------	-------

顧客コード	社員コード
-------	-------

顧客

- 顧客コード
- 顧客名
- 顧客ランク
- 業種
- 郵便番号
- 住所
- 登録者
- 最終更新日
- 最終訪問日

顧客数
顧客コード

このアイコンをクリックすることで項目名の変更が可能です (P17※1参照)

今回の例では、  
「顧客コード」→「顧客数」  
「顧客ランク」→「ランク」  
というように表示項目を変更します

社員シート

- 社員コード
- 社員氏名
- 役職名

※社員コードは、検索条件に指定する際に、社員からの選択方式にしたい場合に利用します (参照P25)

# データソース作成⑦ データ条件指定

データソース上で絞り込むための条件を設定します。

結合マップで結合したシートの項目より、条件指定の選択が可能です。

集計件数が少ない方がシステム負荷が減るので、なるべく条件を絞るようにしてください。

今回の例では、顧客ランクを絞ってデータを抽出を行ってみましょう。

顧客ランクを使用されていない環境では、確度を使用してください。

集計条件の設定

シート・結合マップ・データソースの選択 > 集計項目の設定 > 集計条件の設定 > データソースの保存

1 一覧表示項目を変更

「一覧表示項目を変更」をクリックします

2 顧客ランク

今回は顧客の「顧客ランク」を集計条件設定に使用します  
項目一覧でクリックすると、自動でグレーアウトされ左側の表示項目へ追加されます

3 設定完了

「設定完了」をクリックします

4 全て選択 全て解除 選択反転

顧客ランク(顧客社員集計)

「A」「B」にチェックします

5 戻る 次へ

条件を設定したら「次へ」をクリックします

※ご利用いただいている環境によって、設定されている顧客ランクは異なります。  
今回の例では「A」と「B」の顧客ランクを選択しております。

# データソース作成⑧ 保存

データソースを保存します。

※同期間隔を15分～1440分の間で設定可能になりました。

**1** データソース名と説明文を入力し、データソースを参照・参照編集できるユーザを設定してください。

どのカテゴリに保存するか選択し、データソース名を記入します

カテゴリ: デフォルト

データソース名: 顧客訪問件数集計 (日本語)

他言語を表示

**2** 説明文

毎日1回の更新、またはある一定の時間での更新を選択できます

同期間隔

- 毎日(GMT+09:00)日本標準時(Asia/Tokyo)の 00 : 00 に同期処理を開始する
- 15 分おきに実行する
- 定時同期しない

参照権限

- 全員  社員を指定する
- 役職で絞り込む  全て選択  全て解除  選択反転
- マネージャー  担当  インサイド

**3** 「新規データソースとして保存」をクリックします

戻る **新規データソースとして保存**

**4** 「OK」をクリックします

acacia2.softbrain.co.jp の内容  
データソースを設定した内容で保存します。よろしいですか?

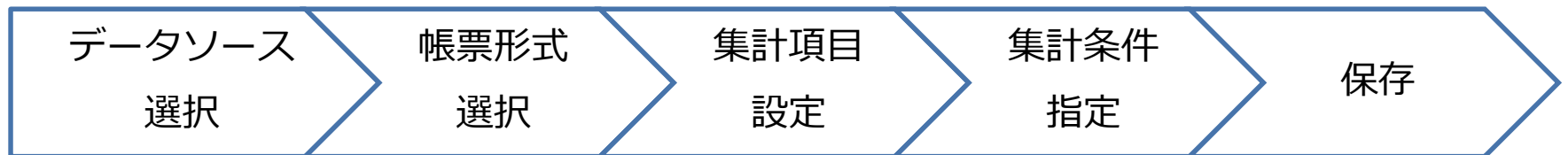
OK キャンセル

**5** 「キャンセル」をクリックします  
※集計結果を見たい場合は「OK」をクリックします  
その場合、結果が表示されるまで時間がかかります

acacia2.softbrain.co.jp の内容  
データソースの集計結果を表示しますか?  
(「キャンセル」をクリックすると、データソースの一覧を表示します)

OK キャンセル

# 帳票の作成



# 帳票の作成① 帳票形式選択

作成したデータソースを使用して帳票を作成します。データソースの選択と、帳票の形式の選択します。

**1** グラフレポートをクリックします

**2** 帳票新規作成をクリックします  
\* カテゴリが作成されていない場合は帳票新規作成が出てきません  
先にカテゴリ新規作成を行ってください  
※カテゴリとは画面上のフォルダアイコンを示します

**3** 作成したデータソースを選択します

**4** 帳票の形式を選択します  
・一覧表  
各シートの検索結果画面のように、項目を横に並べて表示させる形式です  
・クロス集計表  
Excelのピボット集計のように、項目を集計し表として集計を行う形式です  
\* グラフを作成できるのはクロス集計表のみです

**5** 次へ

## 帳票の作成② 集計項目設定

帳票を作成するための項目を、左側データソースの項目よりドラッグアンドドロップで配置します。

集計項目の設定

帳票の形式の選択 集計項目の設定 システム集計条件の設定 ユーザー集計条件の設定 帳票の保存 帳票の確認

▲ 集計する項目を選択し、項目と値を表示する位置を設定して下さい。

顧客訪問件数集計

顧客名

ランク

業種

社

役職名

郵便番号

住所

演算項目

1

2

配置する際は左下と右上の薄い灰色部分と右下の白い部分に項目を配置します

\*今回はランク別最終訪問日ごとの顧客数の配置例を次ページより案内します

項目をドラッグアンドドロップで配置します

戻る 次へ

# 帳票の作成③ 集計項目設定

それぞれ項目を配置した際に、項目設定画面出てきますので、指定したい表示単位を選択します。

右上の項目には「日」を配置します  
\* 右上の項目には表示できる範囲に制限がかかっています  
日ごとに見る場合だと後の集計条件の設定にて絞り込む条件を短くする必要があります

日付項目を配置すると表示単位の選択画面が表示されます  
今回は「月」を選択し「設定完了」をクリックします

1

ランク

選択肢及び小計・合計の選択をせず「設定完了」をクリックします

N o.	表示	集計	選択肢名
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	選択なし
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	A
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	B
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	C

最終訪問日

2

顧客数

3

項目設定

項目名: 顧客訪問件  
データ型: 日付  
小計・合計: 小計・合計

表示単位

- 月
- 日

戻る

次へ

4

集計方法設定

① 集計方法を設定してください。

項目名: 顧客数  
データ型: 文字

集計方法

- 件数
- 軒数

小計・合計の計算方法

縦軸:  合計  平均  最大  最小  
横軸:  合計  平均  最大  最小  
重なった箇所の優先順位:  縦軸  横軸

今回は「件数」にチェックをつけ、「設定完了」をクリックします



## 帳票の作成④ 集計条件指定

システム集計条件、ユーザ集計条件にて、抽出条件の設定を行います。

◎データソースで設定した項目(P16)より選択が可能です。

システム集計条件の設定 一覧表示項目を変更

帳票の形式の選択 > 集計項目の設定 > システム集計条件の設定 > ユーザー集計条件の設定 > 帳票の保存 > 帳票の確認

▲ 作成する帳票の形式と、作成元となるデータソースを選択します。

▲ 集計条件は1項目も設定されていません。

1

戻る 次へ

今回はシステム集計条件は設定せず、「次へ」をクリックします

「一覧表示項目の変更」から集計条件の追加が可能です

ユーザー集計条件の設定 一覧表示項目を変更

帳票の形式の選択 > 集計項目の設定 > システム集計条件の設定 > ユーザー集計条件の設定 > 帳票の保存 > 帳票の確認

▲ この帳票において集計するデータを絞り込むための条件を設定して下さい。  
▲ システム集計条件において選択した選択肢のみを、ユーザ集計条件で指定できます。

最終訪問日

期間指定 (年月日)    今日から○日前-○日後    今日から○日前    今日から○日後

今日から○ヶ月前 (月初) - ○ヶ月後 (月末)    今日から○年前 (期初) - ○年後 (期末)

今日から  ヶ月前 -  ヶ月後

社員コード

ログインユーザ

<< 選択   削除 >>

子部署も含む

検索オプション

- ※青文字：部署
- ※黒文字：社員
- ※その他の色付き文字：社員グループ

戻る 次へ

4

2

集計項目の選択にて、日付項目を右上に配置した場合、制限がかかるため期間条件を必ず設定する必要があります

3

社員コードを条件に指定すると、社員を選択式で選べるようになります  
※追加した項目は社員等設定せずに条件として保存することができます

条件項目設定後、「次へ」をクリックします

## 帳票の作成④ 【補足】集計条件指定

システム集計条件、ユーザ集計条件の違いは以下の通りです。

### ■ システム集計条件

- ◆ 管理者、作成者、編集権限保持者のみが設定できる条件です。
- ◆ 閲覧権限のみのユーザ側で条件を変更することはできません。
- ◆ 帳票閲覧時に、条件変更は誰でも不可。

### ■ ユーザー集計条件

- ◆ ユーザ側で帳票を確認する際に自由に変更できる条件です。
- ◆ 帳票閲覧時に「検索条件変更」より条件変更が可能です。
- ◆ 閲覧権限のあるユーザはどなたでも変更できる条件です。

# 帳票の作成⑤ 保存

条件を設定したら、「帳票名」を記入し保存します。  
保存前にプレビュー画面で確認が可能です。

**帳票の保存**

帳票の形式の選択 > 集計項目の設定 > システム集計条件の設定 > ユーザー集計条件の設定 > **帳票の保存** > 帳票の確認

⚠ 帳票名と説明文を入力し、ユーザが集計結果の絞り込みに使用できる検索項目を設定してください。  
※必須項目です

1

データソースの同期処理が行われていないと「該当データはありません」と出てくる場合があります

帳票名や参照・編集権限の付与設定を行います

カテゴリ: デフォルト

帳票名 \*: ランク別最終訪問日毎の顧客数 (日本語)

他言語を表示

説明文

参照権限:  全員  社員を指定する

参照編集権限:  マネージャー  担当  インサイド

2 「次へ」をクリックすると帳票が確認出来ます

戻る 次へ

ランク別最終訪問日毎の顧客数

帳票の形式の選択 > 集計項目の設定 > システム集計条件の設定 > ユーザー集計条件の設定 > **帳票の保存** > 帳票の確認

数値のドリルダウンは、保存後可能です

最終訪問日: 今日から 6カ月前~0カ月後

検索条件変更

該当件数 5件 50件 表示

	2019年9月	2019年10月	2019年11月	2019年12月	2020年1月	2020年2月	2020年3月	2020年4月	2020年5月	2020年6月
選択なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

acacia2.softbrain.co.jp の内容

帳票を設定した内容で公開します。よろしいですか?

OK キャンセル

3

4

「新規登録」をクリックして、「OK」を選択すると帳票の作成および保存完了です

戻る 新規登録

## 帳票の作成⑥ 作成した帳票の確認 1

作成された帳票は、グラフレポート一覧画面より確認が可能です。  
該当帳票名をクリックすると帳票画面が開きます。

◎ユーザ条件が設定されている場合は、ユーザ側で条件変更が可能です。

データ分析		グラフレポート	データソース					
グラフレポート一覧								
	カテゴリ・帳票・グラフ名	形式		説明	変更	最終同期日時	作成元	順序
<input type="checkbox"/>	 <b>パイプライングラフ (金額)</b> 同期	グラフ	棒グラフ		変更	2020-03-12 12:05	パイプライングラフ用	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	 <b>活動内容集計円グラフ</b> 同期	グラフ	円グラフ		変更	2020-03-12 12:00	社員別活動内容集計	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	 <b>1 別活動内容集計</b> 同期	帳票	クロス集計表		変更	2020-03-12 12:00	活動集計	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	 <b>顧客別訪問件数</b> 同期	帳票	クロス集計表		変更	2020-03-13 11:03	訪問件数集計	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	 <b>ランク別最終訪問日毎の顧客数</b> 同期	帳票	クロス集計表		変更	2020-03-13 11:20	顧客訪問件数集計	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	 <b>提案用</b>							<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	 <b>年間予算達成_2</b> 同期	帳票	クロス集計表		変更	2020-03-13 00:00	予算実績集計用	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	 <b>年間予算達成状況_2</b> 同期	グラフ	棒グラフ		変更	2020-03-13 00:00	年間予 社員顧客集計	<input type="checkbox"/>

作成された帳票の名前をクリックします

ランク別最終訪問日毎の顧客数

## 帳票の作成⑥ 作成した帳票の確認 2

作成された帳票は、グラフレポート一覧画面より確認が可能です。  
該当帳票名をクリックすると帳票画面が開きます。

◎ユーザ条件が設定されている場合は、ユーザ側で条件変更が可能です。

ランク別最終訪問日毎の顧客数 (最終同期日時:2020-03-13 11:20) CSV出力 同期

最終訪問日: 今日から 6力月前~0力月後 検索条件変更

該当件数 5件 50件 表示

	2019年9月	2019年10月	2019年11月	2019年12月	2020年1月	2020年2月	2020年3月
選択なし	0	0	0	0	0	0	0
A	0	0	0	0	0	2	2
B	0	0	0	0	0	2	0
C	0	0	0	0	0	0	0
D	0	0	0	0	0	0	0

「顧客数」をクリックします

2

データ分析

ランク別最終訪問日毎の顧客数

該当件数 5件 50件 表示

3

集計内容詳細が表示されます  
項目内容、並び順の設定はP17,P18です

顧客名	ランク	業種	社員氏名	役職名	郵便番号	住所	登録者	最終更新日	最終訪問
マツモト株式会社	B	情報通信業	営業花子	担当	169-0073	東京都新宿区百人町3-22-1	管理者	2020-01-30 16:35	2020-01
佐藤自動車工業株式会社	B	情報通信業	★営業太郎	担当	125-8512	東京都葛飾区亀有5-14-1	管理者	2020-01-30 16:34	2020-01
三井電池工業株式会社	B	情報通信業	営業五郎	担当	101-0062	東京都千代田区神田駿河台1-8	管理者	2020-03-11 17:06	2020-01
小江戸銀行株式会社	B	情報通信業	★営業太郎	担当	113-8677	東京都文京区本駒込3-18-22	管理者	2020-02-03 09:59	2020-01
松本テック株式会社	B	情報通信業	営業五郎	担当	170-8476	東京都豊島区南大塚2-8-1	管理者	2020-02-03 09:59	2020-01

戻る

POINT

集計数値をクリックすると、集計内容明細が閲覧可能です。  
そこから「顧客情報」「案件情報」などにリンクで飛べるため、マネジメントが一画面で完結します。

## 03 その他作成時の注意点

---

## システムに負荷をかけないために

- レポート機能は便利な機能ですが、誤って設定するとシステムに多大な負荷をかける恐れのある機能になりますので、設定時に以下の点にご注意ください。
  - ◆ POINT1 誤って設定しないよう、作成権限は必要最低限の方にのみ付与する
  - ◆ POINT2 データ同士の外部結合はなるべく避ける
  - ◆ POINT3 集計に必要なデータだけ集計する(なるべく抽出条件を設定しデータ量を絞る)
  - ◆ POINT4 データソースの項目数をむやみに増やさない
  - ◆ POINT5 データソースの構造はシンプルにする(不必要にユニオンしない)
  - ◆ POINT6 クロス集計表にて、むやみに「小計」「合計」を表示しない
  - ◆ POINT7 クロス集計表にて、むやみに項目をたくさん配置しない
  - ◆ POINT8 データソースの同期間隔の時間設定を一律にしない  
(毎日1回なら時間をずらし、データが多い場合は15分おき実行は避ける)
  
- ◆ 詳細は、「【管理者マニュアル】グラフレポート編」をご確認ください

# クロス集計表の集計項目について

クロス集計表の集計項目について、配置可能な項目、制限事項のご案内をします。

- 【設置可能な項目】
- ・数値型
  - ・小数型
  - ・日付型
  - ・セレクト型
  - ・チェックボックス型
  - ・文字型(1個まで)
- ※横に項目を並べることはできません



- 【設置可能な項目】
- ・数値型
  - ・小数型
  - ・日付型
  - ・セレクト型
  - ・チェックボックス型
  - ・文字型
- ※縦に項目を並べることはできません

- 集計値に用いる項目は4つまで配置できます  
タテ並び、ヨコ並びどちらかの配置が可能です
- 【集計可能な項目】
- ・文字型項目
  - ・数値型項目
  - ・小数型項目
  - ・日付型
  - ・演算型
  - ※演算結果はドリルダウンできません



# 【参考】項目タイプごとの配置による条件一覧

項目タイプ	列ラベル配置時の設定	値配置時の設定	項目タイプ	列ラベル配置時の設定	値配置時の設定
数値型 小数型 演算型	<p>【表示範囲】 任意の範囲を一つの要素として出力することができます</p> <p>【表示単位】 任意の表示単位を指定できます</p>	<p>【集計方法】 合計 平均 最大 最小 累計・昇順 累計・降順 【小計・合計】 小計と合計を出力できます 【演算】 出力結果に対して四則演算ができます 【表示単位】 任意の表示単位を指定できます</p>	日付型 日時型	<p>【表示単位】 年 年度 半期帯 半期 四半期帯 四半期 月帯 月 日帯 日 時間帯（日時型のみ） 時間（日時型のみ） 年-半期-四半期-月(右上のみ) 年-半期-四半期(右上のみ) 年-半期-月(右上のみ) 年-半期(右上のみ)</p>	<p>【集計方法】 最大の日時 最小の日時</p> <p>【日付フォーマット】 ユーザの日付フォーマット 任意の日付フォーマット</p>
文字型 文章型	<p>※文章型は配置できません</p> <p>【表示順】 ソートなし 昇順 降順 組織構成順 (部署名・社員氏名のみ)</p>	<p>【集計方法】 件数 軒数 件数 累計・昇順 件数 累計・降順 軒数 累計・昇順 軒数 累計・降順 (※文字が入力されているもののみカウントされます)</p> <p>【小計・合計】 (※出力結果の行に対してのみ) 小計と合計を出力できます</p>	グラフレポート演算型	配置できません	<p>【演算式】 他の値項目の出力結果や定数値を使った演算式を入力します ※日付型、日時型項目は式に含まれません</p> <p>【小数点以下の桁数】 出力する小数点以下の桁数を設定できます</p>
セレクト型 チェックボックス型	<p>※【各選択肢への設定】 表示順序 表示/非表示 合計・小計の対象とするか否か</p> <p>※【選択肢演算の追加】 他の選択肢の出力結果や定数値を使った演算式、その表示形式を設定できます</p>	配置できません	◎制限事項 横方向への小計・合計と累計（昇順・降順）は同時に設定することはできません。 小計・合計の出力設定は値に配置した項目間で共有されます。 小計・合計を出力できる項目と出来ない項目を両方配置した場合、小計・合計は出力されなくなります。 グラフレポート演算型項目は、演算式に含めた他の値項目が削除された場合、同時に削除されます。		

## 【参考】項目のソートについて

◎以下の項目でソートする場合は、名称ではなく内部コードの順でソートされるため注意してください。

シート名	項目名	項目タイプ
顧客	登録者	文字（社員コード）
	最終更新者	文字（社員コード）
	親顧客	文字（親顧客）
	親顧客 1～5	文字（親顧客）
案件	登録者	文字（社員コード）
	最終更新者	文字（社員コード）
案件 商品情報項目	商品コード	文字（商品コード）
活動	登録者	文字（社員コード）
	最終更新者	文字（社員コード）
	報告者	文字（社員コード）
	承認者	文字（社員コード）

シート名	項目名	項目タイプ
活動商品情報項目	商品コード	文字（商品コード）
商品シート	カテゴリ 1～10	文字（商品コード）
社員シート	部署名	文字（部署コード）
部署	所属部署コード	文字（部署コード）
	社員コード	文字（社員コード）
スケジュール	登録者部署コード	文字（部署コード）

※内部コードとは、eセールスマネージャーで自動で採番される、一意のコードとなります。

## 【参考】 -日付項目配置時の表示単位と表示期間の説明-

表示単位	表示される期間の説明
年	西暦で表示します。 表示例：2015
年度	4月1日から翌年の3月31日までを4月1日時点の西暦で表示します。 表示例：2018
半期帯	西暦関係なく4月~9月を上半期、10月~3月を下半期で表示します。 表示例：1、2
半期	4月~9月を上半期、10月~3月を下半期で西暦ごとに表示します。 表示例：1、2
四半期帯	西暦関係なく4月~6月、7月~9月、10月~12月、1月~3月として表示します。 表示例：1、2、3、4
四半期	4月~6月、7月~9月、10月~12月、1月~3月として表示します。 表示例：1、2、3、4
月帯	西暦関係なく1月~12月を1カ月毎で表示します。 表示例：1~12
月	1月~12月の1カ月毎を西暦毎に表示します。 表示例：2018-1、2018-2、2018-3、2018-4
日帯	西暦、月関係なく1日~31日を1日毎表示す。 表示例：1~31
日	1月1日~12月31日の1日毎を西暦毎に表示します。 表示例：2018-1-1、2018-1-2
時間帯	西暦、月、日関係なく0時~23時を1時間ごとに表示します。 表示例：0~23
時	0時~23時の1時間毎を西暦毎に表示します。 表示例：2018-1-1-0~2018-1-1-23
年-半期-四半期-月	ラベルを上から西暦毎、半期毎、四半期毎、月毎で表示します。
年-半期-四半期	ラベルを上から西暦毎、半期毎、四半期毎で表示します。
年-半期-月	ラベルを上から西暦毎、半期毎、月毎で表示します。
年-半期	ラベルを上から西暦毎、半期毎で表示します。

# 【参考】 -日付項目「期首月」「年度の設定」 - ※管理者ログインでのみ設定可能です。

グラフレポートで表示される「期首月」「年度」を変更したい場合、カレンダー設定の変更にて設定変更が可能です。※デフォルトの期首月は4月になっています。

検索

ホーム

シートの一覧と拡張

自社の設定

部署・社員のメンテナンス

社員項目の変更

カレンダー設定の変更

自社商品のメンテナンス

商品項目の変更

コラボレーションの設定

顧客の設定

営業プロセスの設定

アウトプットの設定

その他機能の設定

システムの設定

管理者 ヘルプ

カレンダー設定の変更

カレンダー設定

月間行動予定

### 期首月設定

④ ータ分析機能で使用する期首月を設定します。

期首月 1 月

年度の開始  暦年と同じ  暦年の前年  
例：2020年度は2020年1月に開始

設定完了

### 休日設定

休日パターン 標準設定 iCalから追加

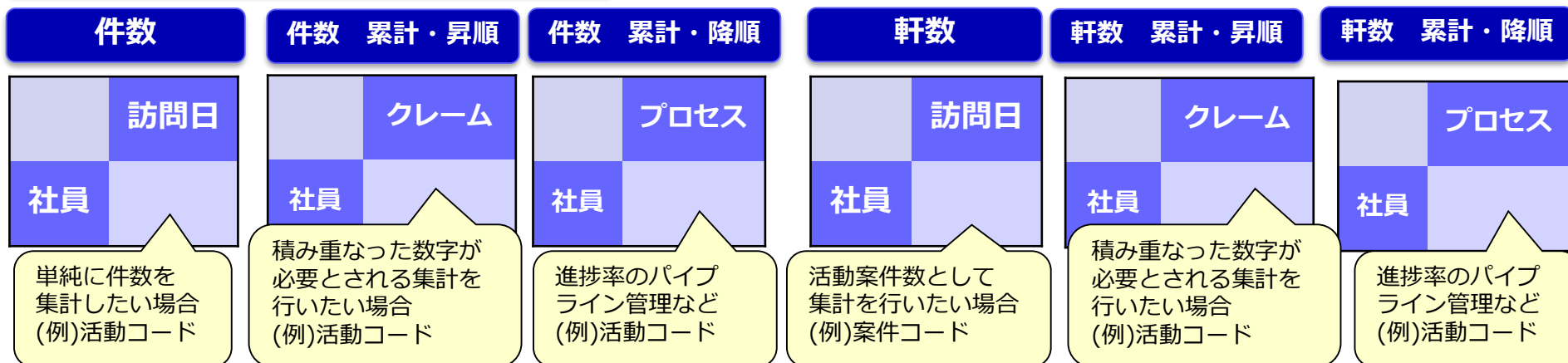
2020-03

月	火	水	木	金	土
休日設定	休日設定	休日設定	休日設定	休日設定	勤務日設定
勤務日 2	勤務日 3	勤務日 4	勤務日 5	勤務日 6	通常休日 7
勤務日 9	勤務日 10	勤務日 11	勤務日 12	勤務日 13	通常休日 14

## 【参考】 帳票の作成-集計値の表示単位-

表示単位	説明
件数	重複したレコードがあっても、まとめずに1件ずつカウントします。
件数 累計・昇順	重複したレコードをまとめずに1件ずつカウントし、集計開始日時より登録されている情報を集計終了日時に向かって累計していくことで集計します。
件数 累計・降順	重複したレコードをまとめずに1件ずつカウントし、集計対象期間での登録情報数から集計終了日時に向かって登録シート数を減算していくことで集計します。
軒数	重複したレコードがあれば、まとめて1件としてカウントします。
軒数 累計・昇順	重複したレコードをまとめて1件とカウントし、集計開始日時より登録されている情報を集計終了日時に向かって累計していくことで集計します。
軒数 累計・降順	重複したレコードをまとめて1件とカウントし、集計対象期間での登録情報数から集計終了日時に向かって登録情報数を減算していくことで集計します。

### 集計表示のイメージ



# 特殊検索項目について

「社員」や「部署」を組織ツリーからの選択式にしたい場合は、それぞれ「社員コード」「部署コード」をデータソース作成時(P17参照)に選択し、帳票集計条件設定の際に(P26参照)、項目を配置いただく必要がございます。

<p>選択ボックス② (社員)</p>		<p>社員コード配置時の 検索項目配置図</p>
<p>選択ボックス② (部署)</p>		<p>部署コード配置時の 検索項目配置図</p>

# 活用支援サイトのご紹介

**eセールスマネージャーの操作説明/動画、活用事例等、業務に有効な情報集めてあります。是非、チェックしてください！**

 **セールスマネージャー**  
活用支援サイト

[サイトマップ](#) [よくある質問](#) [問い合わせ](#)

キーワードから探す  [検索](#) [詳細検索](#)

 **お知らせ**

- 2022/06/27 活用支援サイトTOPページの一部リニューアルのお知らせ [NEW](#) >
- 2022/06/21 新規のユーザーセミナー動画を公開致しました。 [NEW](#) >
- 2022/06/16 2022年7月ユーザーセミナー・研修のお知らせ [NEW](#) >
- 2022/06/15 活用支援サイト「サイトマップ」公開のお知らせ [NEW](#) >
- 2022/06/15 バッチ連携モジュール更新のお知らせ（2022/6/15 追記） [NEW](#) >

[▶ 一覧を見る](#)

 [利用開始に向けて](#)  [動画一覧](#)  [セミナー](#)  [操作マニュアル](#)

[▶ PDF版の操作マニュアルを見る](#)

eセールスマネージャーの機能・操作のお困りごと

ログイン・パスワード

ログインできない  
パスワードを忘れてしまった

<https://www.e-sales-success.jp/guide/remix/web/index.html>

で検索下さい！

